

## 2020食品ロス削減とやま宣言

我が国においては、まだ食べることができる食品が、生産、製造、販売、消費等の各段階において日常的に廃棄され、大量の食品ロスが発生しています。

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において、食料廃棄の半減が重要な目標として位置付けられるなど、食品ロスの削減は、国際的にも重要な課題であり、真摯に取り組むべき喫緊の課題です。

食品ロスの削減は、限られた資源の有効活用につながります。食べ物への敬意・感謝の気持ちを大切に、私たち一人ひとりがそれぞれの立場において主体的にこの課題に取り組み、行動を変革していくことが求められています。

消費者は、食品ロスの削減の重要性について理解を深め、日常のあらゆる場面において、食品ロスの削減を実践します。

事業者は、行政が実施する食品ロスの削減に関する施策に協力するとともに、事業活動に関して食品ロスの削減につながる取組みを実践します。

行政は、食品ロスの削減に向けた取組みが進むよう、関係者と連携強化を図り、機運醸成や各種施策を積極的に推進します。

本日、「食品ロス削減全国大会 in 富山」に集う参加者一同は、この大会を契機として、商慣習の見直しなど先駆的な取組みの輪を日本国内に波及させ、消費者、事業者、行政が連携して、食品ロス削減に向けた取組みのより一層の加速化を図り、持続可能な社会の実現を目指すことを、ここ富山から宣言します。

2020年12月16日

「食品ロス削減全国大会 in 富山」参加者一同

とやま食ロス

検索

<https://foodlosszero.jp/>



本大会の様子は、「とやま食ロスゼロ作戦WEBサイト」にて、期間限定でアーカイブ配信を行います。